

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和7年2月13日 発行

1.発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾 病		疫学週				判断基準(定点当たり)		
		3 週	4 週	5 週	6 週	警報レベル	注意レベル	基準値
		1月13日 ~ 1月19日	1月20日 ~ 1月26日	1月27日 ~ 2月2日	2月3日 ~ 2月9日			
小児科 小児科 小児科	インフルエンザ [#]	68 22.67	50 16.67	15 5.00	26 8.67	30	10	10
	新型コロナウイルス感染症 [#]	31 10.33	31 10.33	17 5.67	11 3.67	-	-	-
小児科 小児科 小児科	RSウイルス感染症	1 0.50	0 —	0 —	0 —	-	-	-
	咽頭結膜熱	0 —	0 —	0 —	0 —	3	1	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 0.50	3 1.50	0 —	0 —	8	4	-
	感染性胃腸炎	4 2.00	4 2.00	5 2.50	8 4.00	20	12	-
	水痘	0 —	0 —	0 —	0 —	2	1	1
	手足口病	0 —	0 —	1 0.50	0 —	5	2	-
	伝染性紅斑	0 —	0 —	0 —	0 —	2	1	-
	突発性発しん	1 0.50	1 0.50	0 —	0 —	-	-	-
	ヘルパンギーナ	0 —	1 0.50	0 —	0 —	6	2	-
	流行性耳下腺炎	0 —	0 —	0 —	0 —	6	2	3
眼科 眼科	急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
	流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
基幹 基幹 基幹	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
	無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
拡張 拡張 拡張	マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
	川崎病	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
	不明発疹症	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2.施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3.栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

- ・ インフルエンザの発生は継続しています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の発生も継続中です。
- ・ 感染性胃腸炎の発生があります。

【 集団発生情報 】

新たな集団発生の報告はありません。

【 感染症コラム～接触感染～ 】

- ・ 感染経路には空気感染、飛沫感染、接触感染の3つの経路があり、それぞれに応じた対策が必要です。
- ・ 接触感染は、感染しているヒトの体液(唾液、便など)あるいはそれらが付着した物(ドアノブ、手すり等)など、病原体に汚染されている場所を直接触れる行為(握手、だっこ、頬ずり等)を介する感染です。
- ・ 病原体が体の表面に付くだけでは感染しませんが、付着した病原体が体内に入ることによって感染が成立します。
- ・ 例えば、病原体が付着した手で口、鼻または目を触る、こどもの場合は病原体が付着したおもちゃを舐める等によって病原体が体内に侵入します。また、傷のある皮膚から病原体が侵入する場合があります。
- ・ 予防には手洗い、手指消毒、PPE着用、清掃・環境消毒・トイレの衛生管理が重要です。
- ・ 自分が感染した場合、周囲に病原体をまき散らさないように咳エチケット等を心掛けましょう。

保健所では感染対策に関する出前講座、手洗いチェッカーの貸出を行っています。御希望の施設の方は下記担当あて御連絡下さい。



感染症情報 ←



性感染症検査 ←

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>